

上条 報告

第58号
平成26年3月

甲州市教育委員会
☎32-5097

大雪が降りました

二月十四日に降り始めた雪は、よく十五日の午
前まで勢いを弱めることなく降り続き、甲府では
記録が残る一二〇年間で最も多い一一四センチ
にもなりました。その結果、県外へ通じる道路・
鉄道は全て遮断され、山梨県全体が孤立したとと
もに、県内でも孤立した集落が発生し、連日報道
もされました。

甲州市も例外ではなく、塩山一之瀬高橋地区と
大和町木賊地区が孤立し、このうち一之瀬高橋地
区は二十四日にやっと孤立が解除されました。雲
峰寺では積雪が二メートルもあつたそうです。

上条地区にお住まいの皆様方も、大変な目に遭
われたことと思います。

教育委員会では、二月十一日から甘草屋敷で毎
年恒例の「ひな飾りと桃の花まつり」が始まった
ばかりで、速やかに観覧者をお迎えするために十
五日の土曜日から除雪
を始めましたが、初日
の除雪は、雪の塊と化
した甘草屋敷にただ呆
然とするだけでした。
今号は、甘草屋敷に
おける「記録的な大雪」
を「記録」しました。



雪の塊・甘草屋敷。

市内の文化財の状況

今回の大雪は、道路
や鉄道などのライフラ
インを完全に麻痺させ
たので、文化財の被害
状況についてはいまだ
に掌握しきれいていま
せん。上萩原の雲峰寺で
は、二月八日の雪とあ
わせて二メートルも積
もつたといいますが、
二十日に雲峰寺へ行っ
てみたところ、本堂や
庫裏などの建造物と県
指定を受けているエド
ヒガンサクラは、一見
して無事でした。
ですが、二十六日に
は勝沼町下岩崎にある
旧宮崎葡萄酒醸造所（メルシャンワイン資料館・県指
定）の瓦が、落雪によって広範囲に傷んでいるのが見
つかり、雪解けが進むことによって確認される文化財
の被害が増えること
でしょう。

甘草屋敷の様子

甘草屋敷に行くこと
が、まず難しいこと
でした。県道は一度除雪
をしたようでしたが、



上井尻の県道。県道に面している家でも
道に出ることが困難です。



旧宮崎葡萄酒醸造所。屋根の雪の下に帯
状に瓦が壊れ、一部落下しました。



雲峰寺は20日の時点でまだ1m以上積も
っていました。

通る車もなく、雪かきをしている人もいません。
昼食を買うためコンビニに立ち寄ると、弁当・おに
ぎり・パンの類は全て売り切れでしたが、カップ麺は
比較的多くありました。このカップ麺も、翌日にはな
くなっていました。

塩山駅には電車が取り残されています。甘草屋敷の
手前で、前から歩いてきた方に「コンビニが近くにあ
りますか？」と聞かれました。電車の乗客と思われま
すが、乗客はその後市役所に避難しました。

やっとの思いで甘草屋敷に着いてみると、降り積も
った雪で全景が確認できないほどでした。先行して課
長が一人で主屋に向かつて通路を作っていて、私も参
加すべく道具を主屋へ取りに行こうとしましたが、主
屋の裏口へ行くのに一〇分以上かかり、主屋の裏は大
屋根の雪が落ちたため、全面が完全に埋没している状
態でした。正面出入口の大戸は埋もれていませんでし
たが、施錠されているため一階からは主屋内に入れま
せん。仕方ないので、梯子をかけて、施錠していない
二階の掃き出しから入りました。

初日の作業は、屋敷の正面から主屋まで一筋の通路
を確保して終了し、翌十六日の日曜日から、本格的な
除雪を開始しました。



一人で雪かきに励む課長。



銅板葺なので雪は積もることなく落ちます。



11.主屋二階から東をみる。



6.主屋裏側。大戸があるはずなのですが・・・



1.馬屋と長屋(奥)。テント枠は翌日つぶれました。



12.主屋二階から南をみる。通路を確保。



7.主屋裏側の様子。雨戸が押されています。



2.長屋と翼蔵(右)。



13.東側の県道からみた長屋。



8.裏の大戸まで掘り進む。



3.主屋裏側に建つ地実棚。



14.県道からみた東門。



9.文庫蔵(子ども図書館)。



4.主屋の北側。職員の出入口があります。



15.県道からみた文庫蔵。



10.文庫蔵の屋根も一部銅板葺です。



5.主屋の裏側。屋根の雪が全て落ちています。